



9

ISO 9001を認証取得

鳥取市は、市民重視の運営の取り組みを整え、迅速性、正確性、公平性、有効性といった視点での行政サービスの品質を高めることに積極的に取り組んでいます。3月19日、環境のISO14001に続きISO9001を認証取得しました。あわせての取得は中四国地方での自治体では、初めてです。



7

100円バス本格運行開始

1月3日から鳥取市100円循環バス「くる梨」が市内2コースの本格運行を開始し、市民の足として定着しました。



5

女性副市長が誕生

合併により、一層増大する市民の行政ニーズを迅速・的確に把握し、複雑・多様化する行財政の課題に適切に対応するため、11月1日から副市長2人制を導入し、林由紀子政策調整監が鳥取市政初の女性副市長に就任しました。



3

男子100m決勝1着でゴールする末績選手 全国スポーツ大会など相次いで開催

第88回日本陸上競技選手権大会兼アテネオリンピック代表選手権大会が布勢総合運動公園陸上競技場で、6月4日から6日に行われ、日本を代表するトップアスリートたちの戦いに、約3万人の観客が訪れました。
また、8月1日から11日には、全国高等学校総合体育大会のバドミントンとフェンシング競技が開催され、選手・観客など延べ約2万2千人が来鳥しました。
そして、9月18日から20日には、全国レクリエーション大会が開催され、全国の参加者や県民、市民が交流しながらレクリエーション活動の体験や研究を行いました。



1

東部9市町村合併により山陰最大の20万都市新「鳥取市」誕生

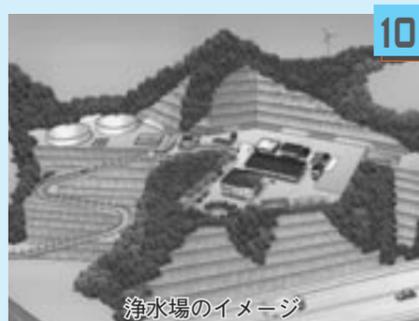
11月1日、東部9市町村が合併し、人口20万人の山陰最大の都市、鳥取市が誕生。合併記念式典並びに新鳥取市誕生祝賀芸能文化祭が、県民文化会館梨花ホールにおいて盛大に開催されました。

鳥取市政10大ニュース

平成16年を振り返る

2004

平成16年もいろいろなことがありました。特にこの1年は、鳥取市にとって歴史的な年となりました。各分野の市関係機関・団体の代表のみなさんと、市議会議長、市長からなる選考委員会（8人）により、鳥取市政10大ニュースが決定されましたので紹介します。



10

浄水場建設計画で浄水方法の膜ろ過への変更が国から認可

浄水場建設について、浄水施設見直し検討委員会、水道事業審議会、ろ過施設検討委員会などで検討した結果、浄水方法の変更に伴う「鳥取市水道事業の設置等に関する条例」の一部改正案を鳥取市議会9月定例会に提出し可決され、急速ろ過法から膜ろ過法による浄水方法の変更について、厚生労働省に変更認可申請を行い、10月28日付けで厚生労働省から認可されました。



8

男女共同参画都市とっとり宣言および鳥取市男女共同参画宣言都市記念式典開催

10月7日、男女共同参画都市ととつりを宣言。また、「第15回男女共同参画全国都市会議 in とっとり」が開催され、全国から関係者が一堂に会し、男女共同参画社会実現に向けた課題などを検討、情報交換を行うとともに、内閣府との共催で「鳥取市男女共同参画宣言都市記念式典」を開催しました。



6

鳥取市議会議員増員選挙

11月21日、鳥取市と合併した旧町村単位の8選挙区を設け、鳥取市議会議員増員選挙を執行しました。12人の新議員が決まり、鳥取市の議員数は44人になりました。



4

中国横断自動車道姫路鳥取線佐用～鳥取間が新直轄方式となり、予算が重点配分

日本道路公団民営化の議論がなされ、平成15年12月25日に、中国横断自動車道姫路鳥取線佐用～鳥取間の整備が国土交通省新直轄方式に決定しました。平成15年度は305億円、16年度には397億円と合計702億円の予算が配分され、早期完成をめざして着々と整備が進められています。



2

旧ダイエー鳥取駅南店の活用策決まり駅南庁舎として開庁

旧ダイエー鳥取駅南店の活用策について、窓口サービスの一元化を図るため、1階部分に福祉関係、税務関係の部署を配置し、2階は市民図書館として整備する活用方策がまとまりました。11月1日に住民票、戸籍、保健、福祉、税などの所管部署9課が移転し、駅南庁舎として開庁しました。